

平成21年3月12日

矢切斜面林の移植植物(草本類・木本類)について

1. 移植の概要

1) 移植対象貴重種(草本類・木本類)

矢切斜面林の貴重種(草本類・木本類)については、3科3種の生育を確認している。平成5年から7年の調査でイヌウメモドキが、また平成10年度から11年度に実施した工事前調査により、矢切斜面林の開削範囲でマンリョウ、シュンラン、イヌウメモドキの生育を確認している。

トンネル・橋梁工事前の平成11年度に再度生育状況を確認し、野菊苑公園の隣接地に移植作業を行い、調査対象地では、平成19年度に個体の生育確認調査を実施している。

2) 移植対象木(木本類)

矢切斜面林の開削範囲に生育していた樹木については、樹勢・樹形等の毎木調査等から選定した移植対象木94本を工事の影響のない箇所(国道6号ランプ部内)に移植している。移植は、平成12年10月～平成13年1月にかけて実施した。

移植方法は、斜面下部での押さえ盛土を行いながらの、根回しの必要のない機械移植としている。

2. 移植対象貴重種(草本類)の調査概要

調査の概要は、以下のとおりである。

調査項目	内 容
調査対象種	環境影響評価書時で貴重種となっている種で、矢切斜面林内で移植を実施した、草本類のマンリョウ(ヤブコウジ科)、シュンラン(ラン科)、木本類のイヌウメモドキ(モチノキ科)の3科3種。 平成11年度のトンネル・橋梁工事前に、矢切斜面林の開削範囲に生育していた移植対象貴重種を工事による影響のない野菊苑公園(松戸市)の隣接地に移植。
調査対象地	野菊苑公園隣接地に移植地。
調査方法	調査対象地の移植地にて、調査対象種である個体の生育状況を確認。
調査時期・回数	調査対象種が確認しやすい個体の開花・結実期(春期)。(H19)
調査結果	・マンリョウ：H19年度に個体を確認。 ・シュンラン：H19年度に個体を確認。
今後の予定	移植対象貴重種の生育確認調査を継続する。

3. 移植対象木(木本類)の調査概要

調査の概要は、以下のとおりである。

調査項目	内 容
調査対象種	平成 10・11 年度に、樹勢、樹形等の毎木調査を実施し、調査結果を踏まえて移植樹木を選定。 胸高直径 60 c m 以上（大径木）の樹木、及び胸高直径 20 c m 以上のスダジイ・アカガシ群落構成種（アカガシ、スダジイ、イヌテ、コナラ、クスギ、タブノキ、シラカシ、コブシ等）
調査対象地	国道 6 号ランプ部移植地
調査方法	調査対象地にて、調査対象種である個体の生育状況を確認。
移植木の生育状況	移植対象木(木本類)の良好な生育状況を確認。
今後の予定	移植地にて維持管理を行う。